

2026年度 第9期防災講座（全2回）

地震と火山と防災

～海の地震と陸の地震～

要事前申込
参加料無料
各会先着
200人

2026年 9月4日（金）・9月11日（金）

配信時間19:30-21:00

開催方法：オンライン配信（ZOOMウェビナー）

※一家族・1アカウントでもご参加いただけます。※視聴される際はWiFi環境が無制限になっているかを必ず事前にご確認ください。※本講座の録音、録画、撮影はご遠慮ください。

9期目を迎えた「地震と火山と防災」は海の地震と陸の地震をテーマに取り上げます。海でも陸でも地震の報が相次ぎますが、この二つは似て非なるもの。地震のメカニズムも津波の起こり方もそして備え方も違います。それぞれの地震にどう備えればよいのか、オンライン配信の利点を活かして日本中にお届けします。

「これだけは知ってほしい」情報を学ぶ講義に加え、東日本大震災の語り部と、能登半島地震の経験者による「震災の経験と教訓が未来の命を守る力なる」講話があります。自然災害が起きてから「もっと準備できたのに」と思うのでは遅いと皆さん気づいているはずですね。専門家や経験者だからこそ伝えられる日頃の備えの大切さを学び、防災行動へつなげるきっかけになればと思います。

第1回 9/4（金）海の地震

▶19:35～20:05 『「逃げよう」と言える人になるために』

3.11メモリアルネットワーク 語り部さん 石川芳恵

▶20:05～20:35 『南海トラフの地震活動、どこまでわかっているの？
～海底から「ゆっくり滑り」を見張る～』

海洋研究開発機構 地震火山研究部門地球モニタリングセンター海底観測研究グループ 主任研究員 山本揚二郎

お申込みはこちら

申込期限：9/3（木）



第2回 9/11（金）陸の地震

▶19:35～20:05 『備えとは何か、何に備えるべきか。』

中間支援で本当に困ったことの実例

一般社団法人能登町定住促進協議会 専務理事 森進之介

▶20:05～20:35 『内陸の地震活動、どこまでわかっているの？
～熊本地震から備えに役立つ情報まで～』

静岡県立大学グローバル地域センター自然災害研究部門NaDiR 特任教授楠城一嘉

お申込みはこちら

申込期限：9/10（木）



地震と火山と防災

～海の地震と陸の地震～

プロフィール

(敬称略)

9/4

第一回

海の地震



語り部さん

石川芳恵

3.11メモリアルネットワーク

東日本大震災の13年前に仙台市から石巻市に家族と移り住む。3月11日の午前中は中学生の息子の卒業式だった。地震後は、地域の小学校の校庭に家族で避難したが地震の直前に家をでた大学生の娘とは1週間以上連絡がとれなかった。震災後しばらくの間、震災を直視できずに生きてきたが、遺族となった友人との交流から、語り部になろうと決意する。

講師

海洋研究開発機構 地震火山研究部門

山本揚二郎

地球モニタリングセンター海底観測研究グループ 主任研究員

海で起きる地震や火山噴火の研究をする地震学者。これまで日本周辺やカナダ西方沖、ニュージーランド東方沖などで海底地震観測に携わってきた。現在は主に南海トラフの地震活動のモニタリングに取り組むとともに、トルコにおける海底地震観測技術の移転・普及にも携わっている。文部科学省「南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト」にも参加。日本地震学会広報委員も務め、地震や防災に関する情報発信も行っている。

講師

森進之介

一般社団法人能登町定住促進協議会 専務理事

1980年金沢市生まれ。リクルート勤務や学生支援起業を経て、2015年の能登町定住促進協議会発足に伴い移住。事務局長（現・専務理事／移住コーディネーター）として移住・定住支援の最前線に立つ。2024年の能登半島地震で自らも被災し自宅を全壊するが、子どもたちにこの豊かな能登を残すため現場での復興に奮闘。「能登の暮らしを共に楽しむ」を軸に、「人」を中心とした持続可能な地域づくりと関係人口創出に挑み続けている。

講師・コーディネーター

楠城一嘉

静岡県立大学グローバル地域センター

自然災害研究部門NaDiR 特任教授

地震・火山・津波を研究する地球科学者。熊本地震のような内陸の地震や、富士山・伊豆半島の地下で起きる地震の仕組みを調べている。南アルプスでは微小な地震活動を可視化する研究を進め、大地震の後には被災地の現地調査も行う。地域防災の啓発教育にも取り組み、文部科学省「南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト」に参加。著書に『地震と火山と防災のはなし』（成山堂書店）がある。



公益社団法人

3.11 メモリアル
ネットワーク

命をつなぐ 未来を拓く

2011年5月に宮城県石巻市で活動がスタート。東日本大震災の経験を根底に据え、教訓の伝承に関わる個人・団体・施設が地域や世代を超えてネットワークでつながり、過去に向き合い未来へ備える意識を共有しながら「災害で命が失われない社会の実現」「被災者や被災地域の苦難を軽減し、再生に向かうことのできる社会の実現」を目指す。



一般社団法人
能登町定住促進協議会

能登町定住促進協議会は、能登町、経済団体、町会、金融機関、企業などの協力のもと、2015年4月に設立された団体であり、能登町への移住・定住の実現を支援するワンストップ窓口である。住まいや仕事探し、起業に関する相談をはじめ、移住後から定住に至るまでのプロセスを、定住支援員が一貫してサポートしている。町と向き合い、町を知り、町を考える。その理念のもと、能登町で真剣に暮らそうとする人々を全力で応援している。